

第1部 上映会

10:00-12:00

(受付開始 9:45)

大阪市立大空小学校
ドキュメンタリー映画

みんなの学校

第2部 講演会

13:30-16:00

(受付開始 13:00)

大阪市立大空小学校
初代校長



木村泰子 さん

大阪府生まれ。
2006年に開校した大阪市立大空小学校の
初代校長を9年間務める。大空小学校では「
すべての子どもの学習権を保障する」という
理念のもと、教職員や地域の人たちとともに
障害の有無にかかわらず、すべての子どもが
いつもいっしょに学び合っている。2015
年には大空小学校の1年間を追ったドキュメ
ンタリー映画「みんなの学校」が公開され、
大きな反響を呼んだ。この映画は文部科学省
の特別選定作品にも選ばれ、現在も全国各地
の教育現場などで自主上映されている。20
15年春に、45年間の教員生活を終え、現
在は講演やセミナーで全国の人たちと学び合
っている。

【お問い合わせ先】

090-1486-2162

homebase.higashiosaka@gmail.com

上記へ電話かメール連絡下さい。担当：しまだ

大空は
明日へつづく

みんなの学校

出演：大空小学校のみんな

監督：森岡俊夫 オペレーション：豊田雄雄 企画：迫川裕 プロデューサー：中尾康彦 助監督：重井孝之
撮影：大庭秋弘 撮影助手：坂倉人 編集：北山晃 編集協力：斎藤志 監音：中嶋泰成 音楽効果：森田隆之 題字：谷尾史
製作：関西テレビ放送 配給：東風

2014年（日本）106分（BD・DVD）ドキュメンタリー 関西テレビ放送

minna-movie.com



ふつうの公立小学校の 不登校も特別支援学級もない 同じ教室で一緒に学ぶ
みんなが笑顔になる挑戦

文部科学省特別選定

上映会・講演会 【開催日】 9/27²⁰²⁵ (土)

主催：～ほ～むべ～す～ 後援：東大阪市教育局

みんなの学校 上映会&木村泰子さん講演会

開催地：東大阪市文化創造館（多目的ホール）

〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2丁目3-4

参加費：上映会 ￥1,000円・講演会 ￥1,000円

（どちらもご参加の方は￥1,500円）

高校生（18才）以下 無料

※上映当日にお釣りのないようご準備ください。

参加申込
フォーム→



最寄駅：近鉄「八戸ノ里駅」南へ徒歩5分
※ご来館の際はできるだけ公共交通機関が近くのコイン
パーキングをご利用下さい。

この事業は令和7年度東大阪市地域まちづくり活動助成金の交付を受けて実施しています。



すべての子供に 居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



学校が変われば、地域が変わる。 そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



驚いた！ ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、大胆に惜しみもなく躍動している。人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

—— 尾木直樹（尾木ママ） 教育評論家

一緒に学ぶという選択肢を考えられなかった人たちに、こんな方法もあるんだということを知ってほしいと思いました。

—— 20代・女性（大学生）

平成25年度（第68回）
文化庁芸術祭大賞 受賞理由
他の地域では厄介者扱いされていた転校生が、教師と同級生、そして地域が包み込むことで、素直で心優しい子供に成長していく姿は、見ている者の心を熱くする。大空小学校の試みは、上からの教育改革とは一線を画す、現場からの教育改革でもある。

子供たちひとりひとりが能力に応じて大切にされていること、手がかかる子もかからない子もいるけど平等に愛されていること、そういう学校が地域の中で理解されて存在していること、それらのことにとっても感動しました。

—— 細川昭々（漫画家・イラストレーター）

minna-movie.com

子育てと教育のあり方を考える

未来を担う子どもたちを、家庭と地域・学校が一体となって育て見守る社会を作るため、そして「ホーム（家庭・生まれ育った地）」が、子どもだけでなく誰もが皆「自分らしく」暮らすことができる場所であるための「ベース（基盤・土台）」作りを支援・提案し、魅力的で住み良いまちづくりの実現を目指します。

主催団体：～ほ～むべ～す～



公式 WEB ↑



～ほ～むべ～す～代表
親子コミュニケーションコーチ
しまだたかこ

協賛企業様



Galaxy Books
<https://galaxyinc.co.jp/>